

活動報告

講演会・研究会開催報告

ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 櫻井 健

平成 25 年度、高等言語研究所主催により実施した講演会ならびに研究会は以下の通りである。(敬称略)

平成 25 年度講演会

日時： 2013 年 12 月 9 日(月)16:10-17:40(5 限)

会場： S201 教室

演題： ポライトネスから見た日本語と外国語
もう一つのコミュニケーション

講師： 滝浦真人(放送大学教授)

講演概要：

「ポライトネス」という言葉、聞いたことがありますか？(ありますね、きっと後期の授業で。)ポライトネスとは「対人配慮」のことなのですが、日本語で配慮というと丁重さの方に意識が行きがちです。でも、人を“敬して避ける”遠慮も、“仲間として近づく”共感も、ともに等しくポライトネスでありえます。

言語ごとにポライトネスの好みや癖があります。日本語のコミュニケーションは、遠ざけ一辺倒と言っているほど対人距離がとられます。(どうして遠ざけ一辺倒になってしまったか？についても考えたいと思います。)近づけ一辺倒と思われがちな英語ですが、意外な一面もあります。どちらもあるけれど近づきが基本というのが中国語です。ポライトネスのやりとりは、話し手が聞き手との対人関係をどうとらえる(とらえたい)かの認識や願望をやりとりすることでもあります。それはコミュニケーションと同時進行のもう一つのコミュニケーションなのです。

(講演前に講師よりいただいたものを掲載)

参加者数： 238 名

第 14 回言語教育研究会

日時： 2013 年 8 月 8 日(木)13:00-15:00

会場： H201 教室

司会： 吉池孝一

参加者数： 14 名

発表者および発表タイトル

(1) 13:10-14:00

吉池孝一(中国学科)

字素 (grapheme) の配列法

ー漢字、チベット文字、契丹文字、ハングルについてー

(2) 14:10-15:00

亀井伸孝 (国際関係学科)

愛知県立大学における手話教育に関する学生意識調査報告

「語学として手話を学びたいという期待に応える教育の提言」

第 15 回言語教育研究会

日時: 2014 年 2 月 18 日 (火) 14:00-17:00

会場: H201 教室

司会: 吉池孝一

参加者数: 12 名

発表者および発表タイトル

(1) 14:10-15:00

学生による自主勉強会についての報告

ポルトガル語研究会 木戸志緒子 (国際関係学科 1 年)

フィンランド語学習会 梅澤美萌里 (国際関係学科 1 年)

手話の会 藤野夏子 (教育福祉学部社会福祉学科 1 年)

(2) 15:10-16:00

月田尚美 (中国学科)

セデック語の品詞分類

(3) 16:10-17:00

大森裕實 (英米学科)

ライティング能力を涵養する自律学習プログラム及び環境の構築

ー東大駒場ライターズスタジオ視察報告ー